

波止場 (On the Waterfront)

観賞日 2022年10月24日 上映時間 108分

【概要】

制作 1954年 アメリカ
監督 エリア・カザン
脚本 バッド・シュールバーグ
音楽 レナード・バーンスタイン
撮影 ボリス・カウフマン
出演 マーロン・ブランド (テリー)、エヴァ・マリー・セイント (イディ)
カール・マルデン (バリー神父)、ロッド・スタイガー (チャーリー)
リー・J・コップ (ジョニー)



【あらすじ】

世界一の貿易港ニューヨーク。ジョニーは港で働く労働者を支配するマフィアのボス。港湾労働者ジョーイがアパートの屋上から墜落死する。ジョーイは明日の公聴会でジョニーの悪業を暴露するはずであったが、それを恐れたジョニーに殺されたのだ。ジョーイの友人テリーはジョーイの妹で大学生のイディに好意を抱く。テリーはかつて有望なボクサーであったがジョニーが仕組んだ八百長試合でボクサー人生を棒に振り転落した過去があった。さらに、テリーの兄チャーリーはインテリでジョニーの知恵袋的存在であった。イディはテリーにバリー神父と協力してジョニーの不正を暴くように頼む。そんな時、またしても犠牲者が出る。公聴会でジョニーの不正を語ろうとしたデューガンだ。バリー神父は労働者に対し決起を呼びかける。揺れ動くテリーの気持ち。ジョニーの命令を受けたチャーリーがテリーを説得しにやってくる。説得に失敗したチャーリーの死。遂にテリーの腹が決まる。公聴会でジョニーの悪事を断罪するテリー。テリーとジョニー一味との格闘。一度は叩きのめされたテリーが立ち上がって・・・。

港を牛耳る悪に敢然と戦いを挑むテリー。アメリカ映画史に燦然と輝く傑作。

【解説】

■ポイント

●エリア・カザンとテリー

- エリア・カザンは本作以外にも「紳士協定」「エデンの東」などの作品を残したハリウッドでも屈指の名監督。
- カザンは1950年代の赤狩りの時代、元共産党員の嫌疑をかけられ、それを否定するため司法取引に応じ11名の仲間の名前を公表、それにより仲間は失職したという過去がある。
- 本作でテリーは最初ボスの指示に従っていたが最後には考え直してボスを追放している。カザンは自身の信念を貫けなかった悔恨を本作でテリーに託したという見方ができないであろうか？



●評価

1954年第27回アカデミー賞：10部門にノミネートされ8部門受賞
作品賞、監督賞、主演男優賞、助演女優賞、脚本賞、撮影賞、美術監督賞、編集賞
AFI (アメリカ映画協会) アメリカ映画ベスト100 (2007年)：19位

■見どころ

- 画面にピタリと寄り添うバーンスタインの音楽と効果音 (テリーがイディにジョーイ事件の真相を語る時に鳴り響く汽笛)
- キーワード：「鷹におびえる鳩」「黄金戦士のリーダー」